



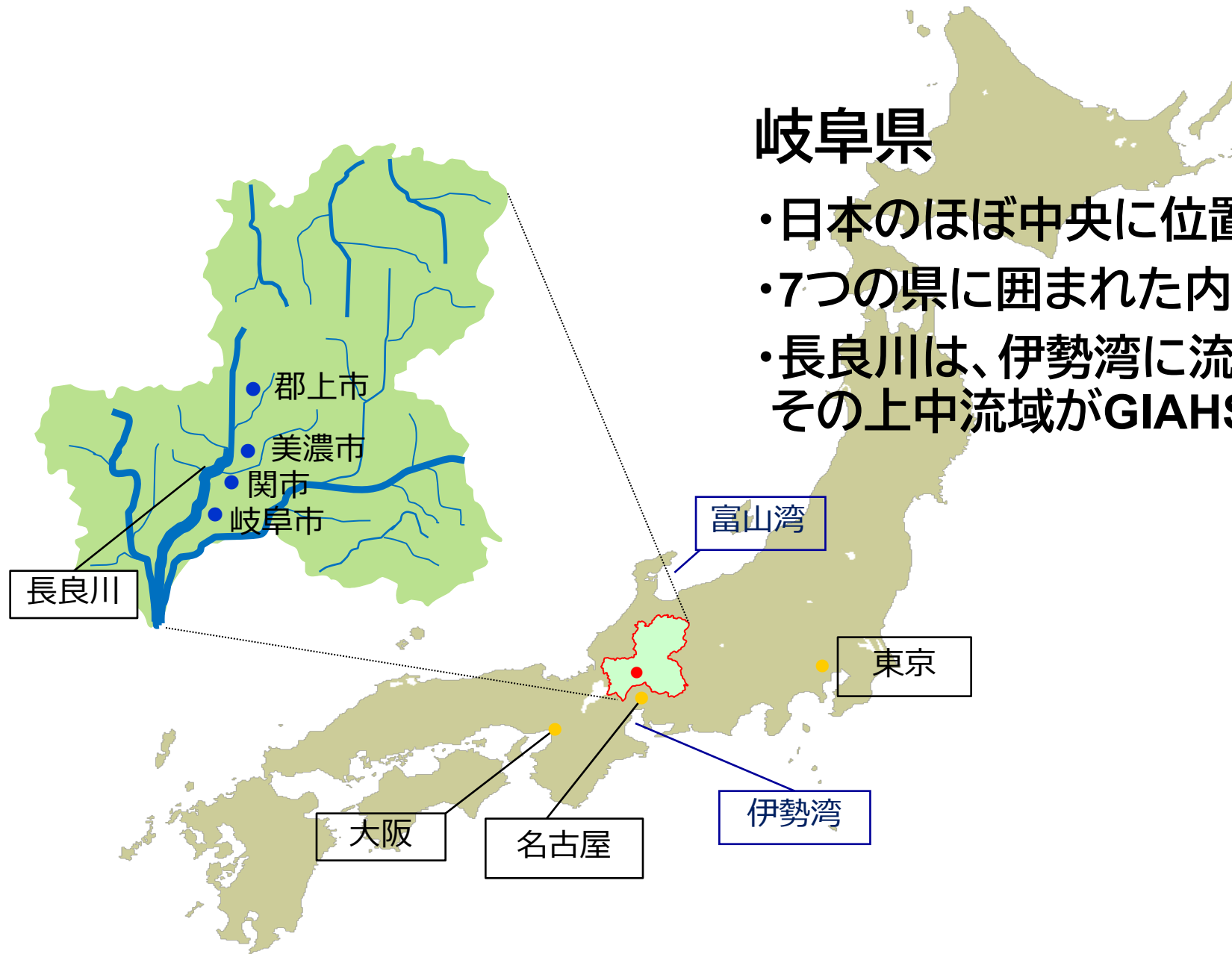
世界農業遺産

清流長良川の鮎

岐阜県、世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会

## 岐阜県

- ・日本のほぼ中央に位置
- ・7つの県に囲まれた内陸県
- ・長良川は、伊勢湾に流れ込み、その上中流域がGIAHSサイト





## 長良川の概要・特徴

- ・長さ : 約166km
- ・流域人口: 約86万人
- ・流量 : 約115m<sup>3</sup>/sec



# 世界農業遺産認定(2015.12)

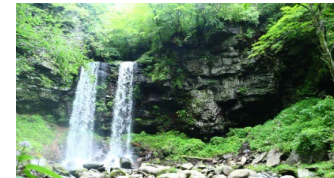
- ・人の生活、水環境、漁業資源が深く関わり、連環する「長良川システム」が世界に認められました。



**森を育てる活動**  
森林の育成と水資源管理



**川を守る活動**  
優れた景観と生態系の保全



**森が蓄える長良川の清流**  
都市部を流れる川でありながら  
日本三大清流と呼ばれる

## 長良川システム

人の生活、水環境、漁業資源が  
連環する里川のシステム

**森・川・海のつながりで育つ鮎**  
生物多様性と鮎資源の確保



**日本有数の鮎**  
伝統漁法による食料の確保

**鮎と水の文化**  
流域に伝わる文化と価値観





## 世界農業遺産「清流長良川の鮎」 推進協議会

- ・認定以降、県や流域4市(岐阜、関、美濃、郡上)、関係団体で協議会を設立
- ・アクションプランを策定し、「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承に向けた取組みを推進





## 鮎生産量の増加

- 岐阜県の令和6年鮎生産量は、  
全国1位(2年連続)



順位	漁獲量(t)	養殖量(t)	生産量(t)
1位	茨城県 267	<b>岐阜県 885</b>	<b><u>岐阜県 1,142</u></b>
2位	<b>岐阜県 257</b>	愛知県 844	愛知県 844
3位	滋賀県 209	和歌山県 605	和歌山県 610

(出典：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」)

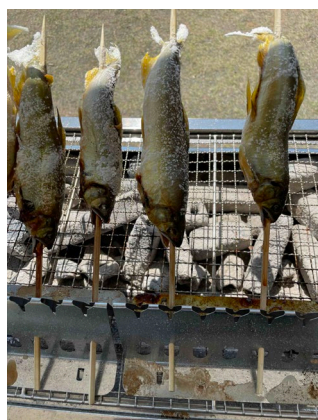


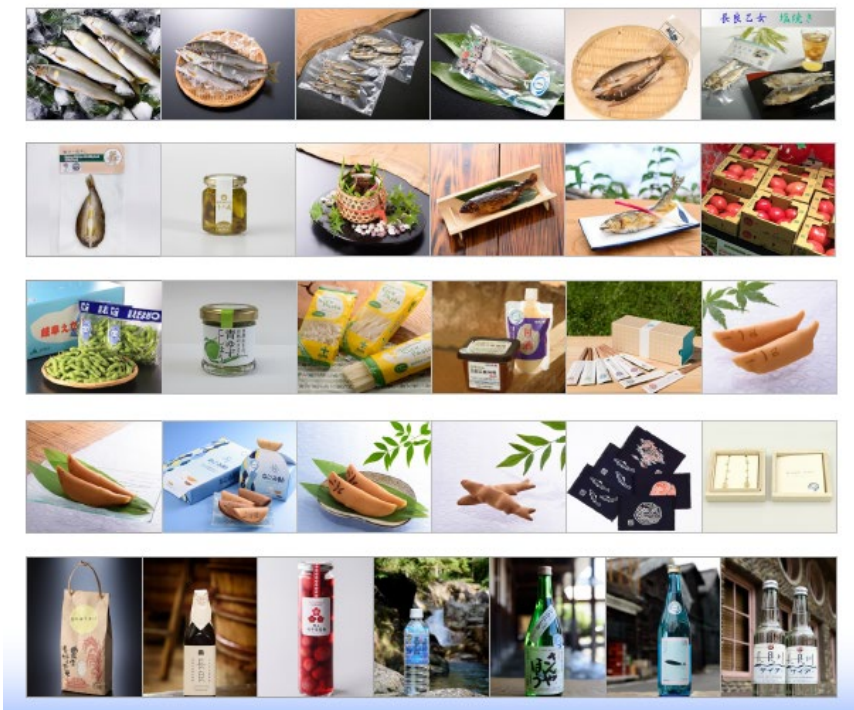
## 鮎のブランド振興と消費拡大

・岐阜「鮎料理フェア」  
フェア参加店舗数：111(R7.10)

・岐阜「鮎販売フェア」  
フェア参加店舗数：84(R7.10)

・BBQで鮎を食べよう！  
キャンペーン  
キャンペーン参加店舗数：52(R7.10)





# 鮎のブランド振興と消費拡大

## ・清流長良川の恵みの逸品

認定商品数：62（R7.5）



PRやブランド価値向上に一定の成果が認められるものの、まだまだ認知度は低い。  
認定地域で、統一ブランドの構築やPR強化を図るなど、関係機関の連携が必要



## 鮎の関係人口の増加

- 「GIAHS鮎の日」イベント

毎年県内各地で、各種イベントを開催し、世界農業遺産の認知度向上を図っている。

- 「清流長良川の鮎」認知度

39.1%(R2)→ 52.6%(R6)

- 清流長良川あゆパーク(H30～)

漁業体験者数：20万人以上

(小中学校、観光客等)

来場者数：100万人突破(R6.9)





## 鮎の関係人口の増加

### ・「清流長良川の鮎」プレーヤーズ

世界農業遺産の保全・活用・継承に取り組む民間団体を「清流長良川の鮎プレーヤーズ」として登録、活動を支援

登録数：29(R7.10)

活動支援数：延べ20団体(R5～R7)



## 鮎の関係人口の増加

### ・高校生の調査研究支援

高校生によるアユや長良川を対象とした調査研究の支援

支援実施校：延べ21校(R2～R7)

#### 7. Hybridization Problem in Gifu Prefecture

**Gifu's FIRST hybrid individual discovered** in Sugata River!



Domestic Individual



Hybrids with Chinese Species

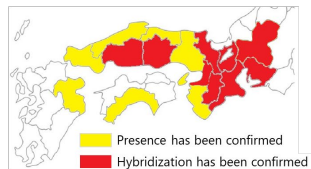


Fig.: Prefectures where hybridization with the Chinese salamander has been confirmed

Hybrids had NOT been discovered in Gifu until this survey.

No survey has been conducted, and the **progress of hybridization is unknown yet.**



## 鮎の関係人口の増加

### ・ふるさと教育

長良川流域の文化や歴史等を学ぶ  
ふるさと教育を実施する学校に対し、  
講師を派遣



派遣学校数：延べ46校(R3～R7)

〔 小学校24、中学校6、高校4、  
大学等12 〕



## 第8回東アジア農業遺産学会(ERAHS) を開催 2024.8.8~9



・各国の最新の取組事例や研究成果を共有



# 今後の世界農業遺産の展開

～シンボルから価値活用へ～

認定10年を迎える節目の年を、  
好機と捉え、新たなステージを展開

## ・若者の発信力の活用

「若者の発信力」を生かし、若者が若者を育てる好循環を構築

## ・流域から県下全域、全国への展開

県下全域での取組み  
認定地域間の連携強化

## ・行政主導から民間主体へ

世界農業遺産ブランドを活用し、経済的価値を創造



世界農業遺産

# 清流長良川の鮎



受け継がれた清流を守り、未来へ伝えます

We will protect the clear waters that have been handed down to us and pass them on to the future.